



平成 29 年 度

財政援助団体等監査結果報告書

裾野市監査委員

裾 監 第 39 号
平成 30 年 1 月 11 日

裾野市長 高 村 謙 二 様

裾野市議会議長 二 見 榮 一 様

裾野市監査委員 斉 藤 武 男

裾野市監査委員 増 田 喜代子

財政援助団体等監査結果報告書の提出について

地方自治法第 199 条第 7 項の規定に基づき、財政援助団体等監査を実施したので、同条第 9 項の規定により、監査結果報告書を提出します。

平成 29 年度財政援助団体等監査結果報告書

1 監査の類別及び対象

(1) 公の施設の指定管理者監査

名 称	シンコースポーツ・静岡ビル保善グループ
代表団体	シンコースポーツ株式会社 東京都中央区日本橋堀留町 2-1-1
対象施設	裾野市スポーツ施設等 (裾野市民体育館・裾野市陸上競技場・裾野市多目的広場・裾野市運動公園テニス場・裾野市運動公園野球場・裾野市やすらぎの広場・裾野市運動公園・裾野市総合グラウンド・裾野市深良グラウンド・裾野市須山テニス・フットサル場・裾野市立水泳場)
所 管 課	教育部生涯学習課

(2) 財政援助団体に関する監査

ア 補助金名等	裾野市観光協会補助金
団 体 名	裾野市観光協会
所 管 課	産業部商工観光課
イ 補助金名等	裾野市観光まちづくり推進事業補助金
団 体 名	裾野市観光協会
所 管 課	産業部商工観光課
ウ 補助金名等	すその夏まつり事業補助金
団 体 名	第 4 3 回裾野市夏まつり実行委員会
所 管 課	産業部商工観光課

2 監査の方法

(1) 公の施設の指定管理者監査

当該施設の指定管理業務に係る出納及びその他の事務が基本協定書に基づき適正に行われているかを主眼として、監査対象団体及び所管課から関係書類の提出を求め、書面及び指定管理施設の調査を行うとともに、関係職員の説明を聴取し実施した。

(2) 財政援助団体に関する監査

市から団体等に交付された補助金が補助目的に沿って適正に執行されているか、財政援助に係る出納その他の事務が適正に行われているかを主眼として、監査対象団体及び所管課から関係書類の提出を求め、書面の調査を行うとともに、関係職員の説明を聴取し実施した。

3 監査の範囲

平成28年度に市が財政援助を与えているもの及び公の施設の指定管理を行わせているものの出納及びその他の事務について監査した。

4 監査の期間

平成29年9月13日から平成29年10月31日まで

5 監査の結果

公の施設の指定管理者監査及び財政援助団体別の監査結果については、後述するが、財政援助団体監査において、改善すべき点が散見されたので以下意見を述べる。。

これまで監査の機会を通じ、補助金交付事務の適正化を求めてきたが、徹底されていないのが現状である。適正な事務処理を行うためにも、「補助金事務処理マニュアル」のような事務の手引きを作成し職員に周知することを望む。

各団体の監査の結果は、次のとおりである。

1 団体名 シンコースポーツ・静岡ビル保善グループ

裾野市スポーツ施設等の指定管理を共同連携して営む、シンコースポーツ株式会社と静岡ビル保善株式会社の共同企業体である。シンコースポーツ株式会社は運営に関する業務、静岡ビル保善株式会社が施設の維持管理業務を行っている。

2 委託料の名称及び委託額

委託料名称	支出額	備考
裾野市スポーツ施設等指定管理業務委託料	85,740,400 円	債務負担行為限度額 420,998,000 円

3 指定管理者の指定の手續及び状況

募集方法	公募
募集期間	平成 26 年 7 月 15 日～平成 26 年 8 月 22 日
指定申請書提出年月日	平成 26 年 8 月 22 日
裾野市公の施設指定管理者選定評価委員会による審査	平成 26 年 9 月 3 日 一次審査（書類審査） 平成 26 年 10 月 6 日 二次審査（面接審査）
選定結果通知	平成 26 年 11 月 4 日 選定評価委員会の採点 683 点／960 点
議会議決日	平成 26 年 12 月 10 日 第 63 号議案 公の施設の指定管理者の指定について（裾野市スポーツ施設等）
指定期間	平成 27 年 4 月 1 日～平成 32 年 3 月 31 日
指定管理者の決算状況（平成 28 年度）	収入額 121,465 千円 支出額 119,236 千円 差引額 2,229 千円

4 結果

指定管理業務は基本協定書に基づき、概ね適正に実施されていると認められた。

5 意見・要望

指定管理者からの年次報告書にあるように、市民体育館でのスポーツ教室の利用者が低水準に留まっているとのことである。市民への周知方法として広報紙への掲載などを行っているが、市には特定の世代を対象にした「子育てアプリ」など、様々な情報発信手段があるので、生涯学習課を通じ、庁内の各部署との連携を図り、より効果的な広報活動に努めることを要望する。

1 団体名 裾野市観光協会

裾野市及び近隣地の観光事業の振興を図り、地方文化産業の発展向上に資し、併せて国際親善を増進し裾野市の発展に寄与することを目的とする団体である。

2 補助金等の名称及び補助額

補助金名称	補助額	補助金の目的
裾野市観光協会補助金	2,778,000 円	団体の円滑な運営を図ることで、裾野市及び近隣の観光事業の振興に寄与することを目的とする。
裾野市観光まちづくり推進事業補助金	3,000,000 円	土日の開所を継続し、観光客への相談に広く柔軟に対応することを目的とする。
合 計	5,778,000 円	

3 収支の状況

平成 28 年度の収支決算の状況

(1) 裾野市観光協会補助金

①収入の部

(単位:円)

区 分	予算現額	決算額	差引額	備 考
会費	1,880,000	1,870,000	△10,000	374 口 (137 会員)
補助金	6,028,000	6,028,000	0	市補助金 5,878,000 円
受託料	7,563,500	7,788,500	225,000	市委託金 3,948,500 円
繰入金	2,200,000	2,200,000	0	観光振興基金・観光案内所兼事務局等移転基金
手数料等	250,000	473,400	223,400	出店者負担金
雑収入	51,496	88,583	37,087	ふれあい広場売上げ等
過年度収入	3,500,000	3,500,000	0	観光情報発信事業
繰越金	516,612	516,612	0	
合計	21,989,608	22,465,095	475,487	

②支出の部

(単位:円)

区 分	予算現額	決算額	差引額	備 考
人件費	7,485,000	5,600,601	△1,884,399	
旅費	30,000	4,340	△25,660	
渉外費	100,000	116,363	16,363	
需用費	445,000	175,800	△269,200	
役務費	500,000	452,792	△47,208	
使用料等	1,225,000	893,942	△331,058	
備品購入費	350,000	46,700	△303,300	

公租公課費	100,000	86,981	△13,019	法人税・自動車税
負担金	152,000	152,000	0	県観光協会等
事業費	11,487,608	13,551,974	2,064,366	
企画総務費	800,000	540,932	△259,068	
キャンペーン費	600,000	530,804	△69,196	
交流人口拡大イベント	3,700,000	3,468,500	△231,500	委託事業
ふれあい広場	40,000	37,500	△2,500	
閉開山式費	320,000	305,030	△14,970	
美化清掃	30,000	19,139	△10,861	
ガイド協会支援事業	300,000	300,000	0	
観光案内所等移転事業	3,200,000	2,592,461	△607,539	
観光情報発信事業	2,497,608	2,497,608	0	
まちづくり推進事業	0	3,260,000	3,260,000	
予備費	115,000	0	△115,000	
合計	21,989,608	21,081,493	△908,115	

(2) 裾野市観光まちづくり推進事業補助金

①収入の部

(単位:円)

区分	予算額	決算額	備考
観光協会自己財源	260,000	260,000	
裾野市補助金	3,000,000	3,000,000	市観光まちづくり推進事業
合計	3,260,000	3,260,000	

②支出の部

(単位:円)

区分	予算額	決算額	備考
人件費	1,840,000	1,887,636	土日開所分
旅費	8,000	8,240	
需用費	120,000	121,883	
役務費	142,000	180,654	
使用料	350,000	351,410	
物品購入費	200,000	110,177	
施設整備費	600,000	600,000	改築費用3,008,000円のうち
合計	3,260,000	3,260,000	

(注) 裾野市観光まちづくり推進事業補助金は、裾野市観光協会の会計の中で収入支出がおこなわれているため、観光まちづくり推進事業費は裾野市観光協会決算の一部として処理されている。

4 結果

市からの補助金にかかる事務処理について監査した結果、次のとおり改善すべき点が見受けられたので、改善に向けて必要な措置を講ぜられたい。

- (1) 観光協会補助金は、協会の業務全般が助成対象であるのに対し、観光まちづくり推進事業費補助金は、土日の開所にかかる経費に対する助成を目的としている。しかしながら、観光まちづくり推進事業費の決算内容を確認すると、観光協会の経常的な経費を観光まちづくり推進事業費の補助対象とするなど、補助金の交付目的に沿った内容となっているとは言いがたい。
- (2) 観光協会補助金及び観光まちづくり推進事業補助金とも、観光案内所兼事務局移転のための中央公園管理棟改修工事を補助対象としている。裾野市産業に関する補助金交付要綱は、もっぱらソフト事業を対象としたものであると解されるので、工事費を補助対象としたことに疑義がある。
- (3) 観光協会補助金及び観光まちづくり推進事業補助金とも、裾野市産業に関する補助金交付要綱の別表2に規定する観光振興事業を補助対象としている。しかしながら、この要綱は包括的な要綱であるため、個別の事業において補助対象範囲が明確化されておらず、どのような事業内容でも補助金交付が可能となる恐れがあるので、個別に補助金交付要綱を整備する必要がある。
- (4) 中央公園管理棟改修工事は、市が所有する管理棟を観光協会で改修工事を行い、改修部分を市に寄附をしている。改修工事費は観光協会の積立金と平成28年度の観光協会の収入で賄っているが、どちらにも裾野市からの補助金が含まれている。財政援助団体から寄附を受けることは、補助金の還流であるので適正な執行であったか疑義がある。
- (5) 事業費の決算額が予算現額を超過している。収支予算書上は項目間の流用が可能であるにもかかわらず流用の手続を怠っている。初歩的な誤りであるため、事務処理の適正化に努められたい。
- (6) 監査当日に、差替え理由の説明がなく観光まちづくり推進事業の収支決算書と交流人口拡大イベント事業の収支決算書の差替えがあった。また、観光協会補助金を増額して実施した「富士山すそのガイド協会」への委託費の実績を示す書類提出を担当課に提出を求めてあったにもかかわらず提出されなかったことなど、監査委員監査に対する担当課の認識の低さを感じた。言うまでもないことだが、監査委員監査は地方自治法の規定により実施されるものであるということを理解し、真摯な態度で臨むことを求める。

5 意見・要望

- (1) 裾野市観光協会補助金は、運営費として事務局職員の人件費に充当されているが、補助対象を事業費補助に転換する方向で見直すべきであり、人件費は協会の自主財源で支出することが望まれる。

(2) 観光協会補助金及び観光まちづくり推進事業補助金の収支決算書とも、初歩的な記載誤りなど基本的な事務の誤りが散見された。昨年度の財政援助団体監査時と同様な誤りもあったので、所管する商工観光課の猛省を促すとともに、市担当課の確認体制を見直し、適正な事務執行を行うことを強く求める。

(3) 補助金ではないため監査委員の意見にとどめるが、観光案内所業務委託として、平日の観光協会事務所における来訪者や電話案内を観光協会に委託していた。この委託業務の内容は観光協会の本来業務であり、観光協会に対する補助金と目的が重複すると思われるので、市側で委託料と補助金の内容を精査することを望む。

また、これまで補助であった3つの事業を、裾野市交流人口拡大イベント事業として1つの委託業務にまとめ、観光協会と1者随意契約を行っている。本来、委託業務は入札が原則であり、随意契約理由にも疑義がある。県振興協会からの補助金の関係で補助事業を委託事業に変更したとのことであるので、補助事業と委託事業の整理が出来ていないと思わざるを得ない。今後は、委託事業としての適正な執行を望むものである。

1 団体名 裾野市夏まつり実行委員会

「すその夏まつり」を開催することを目的とする団体である。

2 補助金等の名称及び補助額

補助金名称	補助額	補助金の目的
すその夏まつり事業補助金	17,870,000 円	裾野市民あがてのコミュニティー活動の場として、市の魅力を積極的に発信PRし、観光振興を図ることを目的とする。

3 収支の状況

平成 28 年度の収支決算の状況

(1) 収入の部

(単位：円)

区 分	予算現額	決算額	差引額	備 考
補助金	17,870,000	17,870,000	0	市補助金
協賛金	7,000,000	7,831,000	831,000	381 件
雑収入	7,466,335	9,179,627	1,713,292	栈敷席券等 7,415,500 円
繰越金	2,163,665	2,163,665	0	
合計	34,500,000	37,044,292	2,544,292	

②支出の部

(単位：円)

区 分	予算現額	決算額	差引額	備 考
会議費	100,000	49,232	50,768	実行委員会会議室使用料
報償費	400,000	330,000	70,000	出演者謝礼等
広告費	800,000	795,690	4,310	ポスター、プログラム、広告料
会場施設費	9,350,000	9,262,267	87,733	シャトルバス、警備、音響設備等
電気工事費	480,000	453,600	26,400	配線工事
花火費	15,000,000	14,735,420	264,580	花火代
通信費	140,000	132,588	7,412	協賛金依頼等
保険料	1,000,000	884,385	115,615	花火、イベント、スタッフ保険
雑費	11,000	5,000	6,000	
備品費	1,000	0	1,000	
需要費	2,030,000	2,021,735	8,265	
障害対策費	1,050,000	614,887	435,113	ゴミ処理、会場トイレ清掃
手数料	20,000	17,188	2,812	送金手数料
事務委託費	3,080,000	3,080,000	0	観光協会事務手数料
夏祭基金繰出金	1,000,000	4,000,000	△3,000,000	
予備費	38,000	0	38,000	
合計	34,500,000	36,381,992	△1,881,992	

4 結 果

市からの補助金にかかる事務処理について監査した結果、次のとおり改善すべき点が見受けられたので、改善に向けて必要な措置を講ぜられたい。

- (1) 関係諸帳簿や証拠書類を確認したところ、収支決算書において、歳出決算額が予算現額を超過するという初歩的な誤りが見受けられた。これは、夏祭基金を当初予算より300万円増額して積立てたことによるものである。裾野市夏まつり実行委員会で承認された収支予算は、項目間の流用のみ認めるものであるので不適切な事務処理である。
- (2) 補助金を平成28年6月6日に一括して支払っているが、裾野市夏まつり実行委員会の収支を確認すると、平成28年7月末時点でも補助金額以上の残高があった。今後は補助金の交付時期、支払方法を見直されたい。
- (3) すその夏まつり事業補助金は、裾野市産業に関する補助金交付要綱の観光振興事業を補助対象としている。すその夏まつりは、事業費、補助金額とも多額であるため個別の補助金交付要綱を整備する必要があると考える。
- (4) 平成27・28年度で夏祭基金を400万円積立している。補助金は当該年度の経費に対して交付されるものであり、補助金が含まれる積立金が団体に留保され将来の事業目的とすることには補助金の趣旨を考えると疑問が残る。主管課である商工観光課はこの決算を承認して補助金を交付しているが、積立金の是非について再考されたい。

5 意見・要望

- (1) すその夏まつりは、実行委員会を作り運営を行っているが、実行委員会は組織図があるだけで規約等は未整備である。裾野市でも最大の来場者を有する事業であるため、運営をする実行委員会の体制を整備されることを要望する。
- (2) 実行委員会の努力により花火栈敷席販売代金などが増収となっているが、収支決算書には雑収入に区分され、備考欄に記載されているだけである。協賛金とならんで重要な自主財源であるので、収入区分を見直しよりわかりやすい予算書、決算書を作成することを要望する。